

**なくせ！原発 安心して住み続けられる福島を！**

## 11・2ふくしま大集会実行委員会ニュース

第3号(2013.10.16) <発行>大集会実行委員会事務局(024-525-8563)

**多くのみなさんに集会を知ってもらいましょう！**

18日(金)午前10時、県庁正門集合で、  
会場周辺、福島市街なかの商店主のみなさんへの案  
内活動を行ないます！多くの参加をおねがいします！

集会まで、あと17日。誰にでも、気軽に参加していただくために、もっともっと  
集会の存在を知ってもらわなければなりません。そのために、会場周辺や福島市の街  
なかの商店街(商店主)を訪問し、ご案内とパレード等での協力のおねがい、ポスタ  
ー掲示やチラシを置いていただくことなどをおねがいする行動にとりくみます。

20人～30人の参加者がいれば、すべての商店街(商店主)のみなさんに一気に  
案内することができます。たいへんお忙しい中ですが、多くの参加をおねがいします。

### **第5回実行委員会を開催しました！**

**出店テントをさらに増やしてください！**

**要員確保、参加人数と募金集約の点検にご協力を！**

昨日(10/16)午後、実行委員会事務所で、「第5回実行委員会」を開催しま  
した(15団体から18人にご参加いただきました)。

この間、東京(10・13ノーニュークスデー)、岩手・花巻市(全国災対連全国  
交流集会)、福島市(松川事件無罪確定50周年記念全国集会)などで開催された全  
国規模の集会で、参加者にチラシを配付するなど宣伝をつよめてきました。

実行委員会では、宣伝や企画内容などについて論議。この中で、交流テント企画へ  
の出店が約50テントになっていることから、さらに増やす働きかけをつよめること  
を確認しました。また、集会当日の要員確保や、参加人数と募金の集約を連日行って  
いくことも確認しました。ご協力をよろしくおねがいします。

<事務局より>

10月13日付「福島民報」は、「原発事故関連による県内の自殺者が増加傾向に  
ある(内閣府のまとめ)」という記事を掲載。2011年10人、2012年13人、  
今年(2013年)は8月までで、すでに15人。「避難の長期化が精神的負担を増  
大させている」と分析。限界をこえている避難生活。力をあわせ、希望をきりひらく  
「11・2大集会」にしていきましょう！